

地域・離島歯科医療実習 レポート

学籍番号： 4314100335

氏名： 西山 司

実習先： 宝島・小宝島

実習期間： 令和元年 6月24日 ~ 7月1日

1. 自然環境

宝島…トカラ列島の有人島の中で最南端に位置する、隆起したサンゴ礁の島。

面積：7.07km² 周囲：13.77km

動植物：アダン群生、ピロウ群生、リュウキュウバショウ、トカラハブ、
エラブオオコウモリ、ハウチワノキ

土地利用状況：牧場、水田、畑 気候：亜熱帯（5～9月が多雨期）

小宝島…宝島の北東約16kmに位置し、宝島同様にサンゴ島。

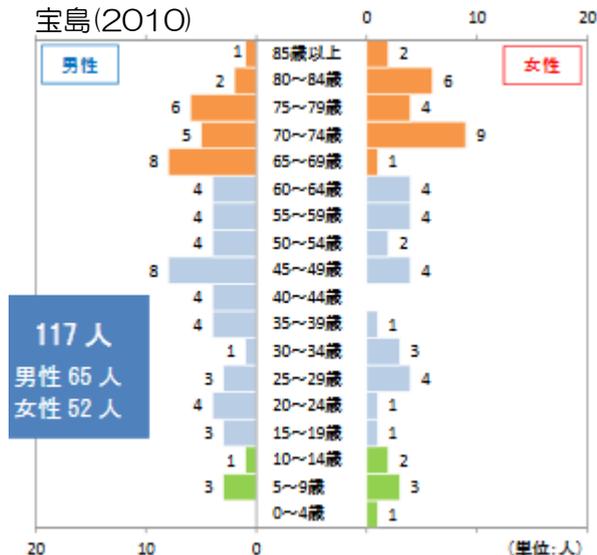
面積：0.98km² 周囲：4.74km

動植物：ソテツ、アダン、ピロウ群生、トカラハブ

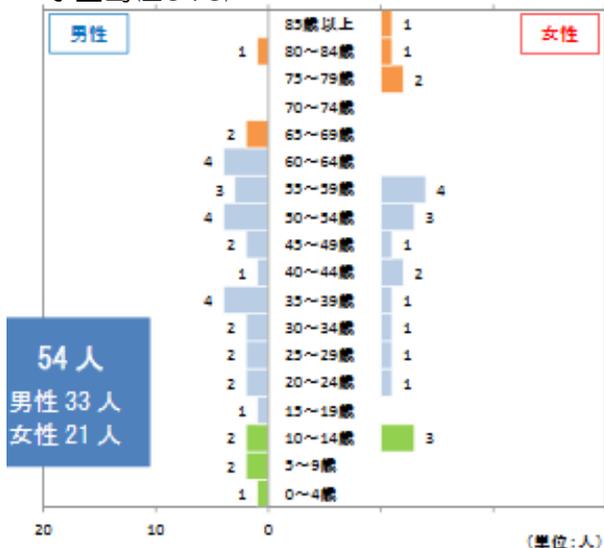
土地利用状況：牧場、畑 気候：亜熱帯

2. 社会的背景

宝島(2010)



小宝島(2010)



産業		小宝島	宝島
第1次産業	農業	3	16
	林業	0	0
	漁業	2	4
第2次産業	鉱業	0	0
	建設業	7	10
	製造業	3	9
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	3	3
	情報・通信業	1	0
	運輸	1	2
	卸売・小売業	0	3
	金融・保険業	0	0
	不動産業	0	0
	飲食店・宿泊業	4	6
	医療・福祉	1	4
	教育・学習支援業	10	9
	複合サービス事業	0	3
	サービス業	0	0
	公務	2	2

(人)

合計特殊出生率は十島村全体で 2008～2012 年で 1.49 と全国平均（1.39）より高いものの、鹿児島県平均（1.61）と比較すると低い値となっている。1998～2002 年の 1.32、2003～2007 年の 1.62 と上昇傾向にあったが、低下している。

歴史：

列島の位置的関係から琉球文化が北上した海上の道にあたる一方で、本土のヤマト文化の影響を強く受けた地域であった。数多くの遺跡の発掘調査が行われ、貿易陶磁器などの出土もある。平家一門の日宋貿易・南海貿易による海上交通は南西諸島のトカラ列島の各島々を標識にして行われたとされ、壇ノ浦の合戦で敗北した平家一門の一部はトカラ列島の各島々に上陸しており、全島殆どに平家末裔の伝承が残り、各島に島司（郡司）の家柄が残っており、この家柄は島の中心的・指導的家柄で、財力・権力が安定し、宗教的役割でも重要な位置であった。

近世では薩摩藩直轄領で船奉行の支配下にあり、各島々には島役（郡司・横目・浦役・名頭）が配置され、口之島・中之島・宝島には在番を置いて島政が行われていた。

幕末においては口之島・中之島・宝島に異国船番所・津口番所が置かれており、1824 年には宝島でイギリス捕鯨船との争いがあり、これは日本を変える重大事件であった。ペリーの黒船出現より 30 年早い事件でこれを機に幕府は異国船打払令を出し、この争いがあった一帯はイギリス坂と呼ばれている。

昭和 21 年 2 月に連合軍司令部の宣言により、下七島と上三島に分断され、米国軍政下に置かれ、昭和 27 年 2 月 4 日にポツダム政令により下七島を十島村とし、地方自治法の適用を受けた。十島村の本土復帰とともに島々の生活や経済・産業は県本土へと向きを変え、役場庁舎を鹿児島市へ移転した。

3. 住民の生活

食生活・文化：

農業・畜産・漁業いずれにおいても自給自足のものが多い。農業においては日本で 1955 年の最後まで焼畑農業が残っていた地域であり、サツマイモ、タロイモ、筍、島バナナやパパイヤタンカンなどが栽培されている。

畜産においては肉用牛・山羊の生産が行われて本土への出荷もされ、基幹産業に発展している。

漁業においてはトカラ伝統のホロ引き漁の他にも沿岸漁業や一本釣り漁、素潜り漁などが行われている。ホロ引き漁ではカツオ・サワラ・シビなどが、素潜り漁では伊勢海老、夜光貝、甲イカなどを漁獲しており、島民の食卓にもよく上がる。

4. 医療供給体制

宝島、小宝島共に病院と救急車はないが、診療所があり、常勤看護師が 1 名ずつ配置され、急患時の輸送には防災ヘリ、救護ヘリが用いられている。また鹿児島赤十字病院の医師が定期船利用により、鹿児島市から毎月巡回診療が行われている。また検診はフェリーとしまの船内の診療室で行われている。歯科においては県歯科医師会が年間計画を作成し、毎年 2 回の巡回診療が鹿児島県の委託事業として行っている。

なおヘリでの搬送の際の疾患は 2008 年 4 月～2013 年 8 月において、外傷（四肢骨折・脱臼・頭

部外傷・その他) が 19 例、脳血管疾患 7 例、消化器疾患 4 例、心疾患 3 例、呼吸器疾患 3 例、悪性腫瘍 2 例、その他 6 例となっており、多くは外傷であることがわかる。さらにこの内来島者が 11 例と 1/4 を占めている。

実習概要

日付	内容
6/25 宝島	歯科健診（小児）、食生活やブラッシングの必要性についての講和 ブラッシング指導
6/26 宝島	未就学児歯科健診、高齢者の歯周病健診、歯周基本検査、歯石除去、PMTC、義歯調整、 う蝕治療、抜髄・感染根管治療、抜歯
6/27 宝島	高齢者の歯周病健診、歯周基本検査、歯石除去、PMTC、義歯調整、う蝕治療、抜髄・感 染根管治療、抜歯
6/28 宝島 小宝島	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>宝島：消毒 小宝島：歯科健診（小児）、食生活やブラッシングの必要性についての講和 ブラッシング指導、歯周基本検査、歯石除去、PMTC</p>
6/28 宝島 小宝島	高齢者の歯周病健診、歯周基本検査、歯石除去、PMTC、義歯調整、う蝕治療、抜髄・感 染根管治療 高齢者の歯周病健診など、歯周基本検査、歯石除去、PMTC、う蝕治療、抜歯
6/29 小宝島	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
6/30 小宝島	

振り返り記録

歯科医院が島内になく、最寄りの歯科医院が奄美大島であることや、フェリーの本数が限られている環境下であることから、継続的な治療が困難であることを前提とした治療が多かった。複数回の連続した通院を要する義歯作製が難しかったためか、20年以上同じ義歯を使い続ける患者もみられた。小児のブラッシング指導時に、毛先の開いた古い歯ブラシを使い続けている子供もみられ、物流の問題なのか新しい歯ブラシになかなか交換しないように思われた。

今回の巡回診療において行った治療は、見つかった疾病に対する応急的な処置が多く、期間や設備の関係で、補綴物の新製を除くほとんどの処置が行われた。今回巡回診療に参加した歯科医師が小児歯科の先生と抜歯に慣れた口腔外科の先生であったことからこのような内容になったと考えられる。次回は冠ブリッジ科の先生が参加されるとのことだったので、今回とは異なる診療内容になると思われる。

また、運搬できる器具や材料の数は限られるため、健診の際に使い捨てのミラーをトレーに置かずに使用後に直接ゴミ袋に入れ、トレーを無駄に使わないようにするなど資源の節約がこじか号のない小宝島で見られた（こじか号にトレーや基本セットなどのストックが保管されているため）。

使用する薬剤については前述のとおり、短いスパンでの継続的・定期的な治療が困難なため、根管治療の際の貼薬剤にはカルシペックスではなく、長期間留置しても構わないピタペックスを用いていた。

今回の日程は、本来宝島が2日間、小宝島が3日間の予定であったが、天候の影響で宝島から小宝島までの高速船「ななしま」が出航できず、宝島が3日間、小宝島が2日間となった。こういったことも、予約して通院する際に、天候の影響でフェリーが運休になる場合も少なくないため、継続的な通院を困難にしているのだろうと感じた。

